

まちづくりの目標	4	暮らしにやさしく笑顔があふれるまち
政策	1	平和と人権を大切にするまちにします

施策	1	平和を実感できるまちにします	担当部(統括部)	市長公室
----	---	----------------	----------	------

【実現している姿】

目標	すべての市民が高い平和意識を持ち、日本のみならず、世界の平和に対しても深い関心を持っています。	
到達度	前期終了年度(平成27年度末)	後期終了年度(平成32年度末)
目標	子どもたちが、命の尊さ、平和の大切さを理解し、国や文化の違いを認め、他国の子どもたちとともに学んでいます。	
到達度	前期終了年度(平成27年度末)	後期終了年度(平成32年度末)

実現している姿を確認する指標

		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度
平和黙祷に協力している事業所の数	目標	—	—	924	950	950	950	950	950	950	1,000
	実績	518	814	897	893	806					
国際理解教育に関する社会人講師活用時間	目標	—	—	420時間	420時間	425時間	425時間	430時間	430時間	435時間	448時間
	実績	433時間	415時間	438時間	446時間	502時間					

【施策の展開】◎は重点的な取組み

◎平和意識の高揚						
7・8月を平和月間と位置づけ、平和パネル展などの催しにより、市民に戦争の悲惨さと平和の尊さを訴え、平和に関する市民の取組みを促進します。						
平成27年度事業	◇平和施策推進事業770千円(人権女性政策課)					
		第5期実施計画期間				後期終了年度
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度
計画	平和都市宣言30周年事業として、ピース大阪から実物資料を借り、男女共同参画センター交流室で特別展示を行う。	平和パネル展の周知方法を検討する。	平和パネル展の複数箇所での開催	平和パネル展の複数箇所での開催	平和パネル展の複数箇所での開催	平和パネル展の複数箇所での開催
取組実績	昨年度に引き続き平和パネル展をコミュニティプラザで実施した。また、平和都市宣言30周年記念事業として、男女共同参画センター交流室でピース大阪からお借りした戦時中の実物資料や市保有の戦時中の写真パネルを特別展示した。					
成果	平和パネル展では、コミュニティプラザを訪れた多数の市民に平和の尊さについて啓発することができた。238人の参加があり、特別展では、平和を身近な問題として考えていただくことができた。					
次年度課題	周知の方法や仕組みを検討する必要がある。					
計画	市内子ども劇団等による演劇祭を継続実施し、摂津市オリジナルの作品で開催	市内子ども劇団等による演劇祭を継続実施	平和イベントの内容を検討・実施	平和イベントの内容を検討・実施	平和イベントの内容を検討・実施	平和イベントの内容を検討・実施
取組実績	平和都市宣言30周年記念の年であり、子ども劇団等による平和をテーマとする演劇祭のセレモニーでは、子ども代表、大人代表による「宣言文の読み上げ」を行った。					
成果	実際に原爆を体験された方のお話を聞き、劇に活かすことができた。また、親子で平和について考える機会を提供するとともに、子どもの劇を見に来られた289人の来場者に、平和都市宣言の周知を図ることができた。					
次年度課題	次年度は、戦時中の様子をより取り入れた内容とし、若い世代への啓発を行う。					

	第5期実施計画期間					後期終了年度
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度
計画	平和イベントに協賛し、市内公共施設が主体となる各種事業を実施	平和イベントに協賛し、市内公共施設が主体となる各種事業を実施	平和イベントに協賛し、市内公共施設が主体となる各種事業を実施	平和イベントに協賛し、市内公共施設が主体となる各種事業を実施	平和イベントに協賛し、市内公共施設が主体となる各種事業を実施	平和イベントに協賛する市内公共施設が平和映画会を開催
取組実績	市内公民館が協賛事業としてピース映画会を実施した。					
成果	公民館と連携し、平和をテーマとする映画作品についての情報提供ができた。					
次年度課題	新たな平和をテーマとする映画作品について、情報収集する必要がある。					
計画	平和イベント各会場内での折鶴コーナーの設置	平和イベント各会場内での折鶴コーナーの設置	平和イベント各会場内での折鶴コーナーの設置	平和イベント各会場内での折鶴コーナーの設置	平和イベント各会場内での折鶴コーナーの設置	平和イベント各会場内での折鶴コーナーの設置
取組実績	平和イベント会場内他公共施設において折鶴コーナーを設置し、広島平和祈念式典や市平和公園に捧げた。					
成果	平和に対する願いを込めた折り鶴を作っていただき、意識喚起につなげることができた。また、平和都市宣言30周年記念として発行したヒューマンライツナウ特別号で、市民の皆さんに作っていただいた折り鶴や平和公園に飾られている折鶴を紹介し啓発を行うことが出来た。					
次年度課題	—					
計画	市・市立施設・市内事業所において平和黙とうを実施。また、実施状況の把握方法を検討	市・市立施設・市内事業所において平和黙とうの実施	市・市立施設・市内事業所において平和黙とうの実施	市・市立施設・市内事業所において平和黙とうの実施	市・市立施設・市内事業所において平和黙とうの実施	市・市立施設・市内事業所において平和黙とうの実施
取組実績	摂津市事業所ネットを活用し、平和黙とうの依頼先(事業所)を確認した。					
成果	平和黙とうの実施協力を市内事業所806箇所に依頼することができた。					
次年度課題	—					
計画	平和都市宣言30周年記念事業の実施	—	戦後70周年事業の実施	—	—	—
取組実績	記念事業として、平和演劇祭のセレモニーで、市内在住の子ども代表(小学生男子、中学生女子)、大人代表(原爆被害者福祉協議会会長、摂津市長)による平和都市宣言の読み上げを実施した。また、摂津市の平和事業の取組みや戦時中の様子などをまとめた「ヒューマンライツナウ特別号」を発行した。平和パネル展では特別展を実施し、市内の戦時中の写真パネルや大阪府の実物資料などを展示した。広報せつつにおいても特集記事を掲載した。					
成果	平和都市宣言の読み上げでは、宣言を改めて知っていただき、平和を愛する市民であることを再確認してもらうことができた。「ヒューマンライツナウ特別号」は市内の小学6年生に配布し、学習資料として活用してもらった。特別展では、平和を身近な問題として考えていただくことができた。					
次年度課題	—					

◎平和宣言都市の実践						
平和市長会議の加盟都市として、「平和都市宣言」の精神を實踐し、他の加盟都市と連携しながら核廃絶を訴えます。						
平成27年度事業 ◇平和施策推進事業770千円(人権女性政策課)						
	第5期実施計画期間					後期終了年度
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度
計画	広島原爆記念式典に参列	長崎原爆記念式典に参列	広島原爆記念式典に参列	長崎原爆記念式典に参列	広島原爆記念式典に参列	広島・長崎原爆記念式典に参列
取組実績	世界人権宣言撰津連絡会議加盟団体から1人が参加した。					
成果	被爆地での式典に参加することで、より一層非核平和への意識喚起ができ、世界人権宣言撰津連絡会議の今後の活動につなげることができた。					
次年度課題	市民参加のあり方について、今後世界人権宣言撰津連絡会議と協議を進める必要がある。					
計画	平和市長会議の取組み紹介及び本市の活動の情報発信を平和都市宣言30周年記念事業の中で実施	平和首長会議の取組み紹介及び本市の活動の情報発信	平和首長会議の取組み紹介及び本市の活動の情報発信	平和首長会議の取組み紹介及び本市の活動の情報発信	平和首長会議の取組み紹介及び本市の活動の情報発信	平和首長会議の取組み紹介及び本市の活動の情報発信
取組実績	パネル展(特別展)や平和演劇祭において、平和市長会議の取組みを紹介した。					
成果	平和市長会議が取り組んでいる市民署名活動に77件の署名協力を得ることができた。また、地域の垣根を越えた非核平和への取組みの重要性を確認できた。					
次年度課題	引き続き平和市長会議の活動を市民に周知していく。					
計画	平和行進の受入・支援	平和行進の受入・支援	平和行進の受入・支援	平和行進の受入・支援	平和行進の受入・支援	平和行進の受入・支援
取組実績	平和行進の受け入れを実施(3団体)した。					
成果	平和を願う様々な団体を後方支援することで、平和への思いを共有する機会となった。					
次年度課題	引き続き受入・支援を行う。					

◎平和学習の推進						
幼稚園・小中学校において、子どもの発達段階に応じた平和学習を行います。						
平成27年度事業 ◇国際理解教育推進事業9,118千円(学校教育課)						
	第5期実施計画期間					後期終了年度
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度
計画	各校で、平和教育の系統性のあるカリキュラムづくりと実施	各校で、平和教育の系統性のあるカリキュラムづくりと実施	各校で、平和教育の系統性のあるカリキュラムづくりと実施	各校で、平和教育の系統性のあるカリキュラムづくりと実施	各校で、平和教育の系統性のあるカリキュラムづくりと実施	各校で、平和教育の系統性のあるカリキュラムづくりと実施
取組実績	全校で人権教育計画の中に平和教育を位置付け、調べ学習や8月の平和登校、12月の平和集会等を実施した。					
成果	全小中学校の児童生徒が何らかの形で平和について調べたり発表したりする行動につなげることができた。					
次年度課題	平和教育の系統性のあるカリキュラムづくりを深めていく必要がある。					

	第5期実施計画期間					後期終了年度
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度
計画	就学前教育・小中学校の平和教育の系統性のあるカリキュラムの修正と実施	就学前教育・小中学校の平和教育の系統性のあるカリキュラムの修正と実施	就学前教育・小中学校の平和教育の系統性のあるカリキュラムの修正と実施	就学前教育・小中学校の平和教育の系統性のあるカリキュラムの修正と実施	就学前教育・小中学校の平和教育の系統性のあるカリキュラムの修正と実施	就学前教育・小中学校の平和教育の系統性のあるカリキュラムの実践と深化
取組実績	小学校の平和集会等、各校園で工夫を凝らした平和教育の取組みを行った。					
成果	各校園、特色のある平和学習を推進することができた。					
次年度課題	就学前と小学校の調整や小中学校での交流は行っていない。					
計画	系統性のある平和学習を作成するための教員研修開催	系統性のある平和学習を実施するための教員研修開催	系統性のある平和学習を実施するための教員研修開催	系統性のある平和学習を作成するための教員研修開催	系統性のある平和学習を実施するための教員研修開催	系統性のある平和学習を作成するための教員研修開催
取組実績	平和に絞った全体研修は行っていないが各校でOJTを実施した。					
成果	若手教員を中心に平和の尊さを再確認した。					
次年度課題	平和教育については、各校園での取組みが定着しているため研修は行っていないが、新たな研修も検討する必要がある。					

◎国際理解教育の推進

自国の歴史や文化に誇りを持ち、外国の多様な文化を認め合う力を育てるため、子どもの発達段階に応じた国際理解教育を推進します。

平成27年度事業 ◇国際理解教育推進事業9,118千円(学校教育課)

	第5期実施計画期間					後期終了年度
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度
計画	小中学校の国際理解教育の系統性のあるカリキュラムづくりと実施	小中学校の国際理解教育の系統性のあるカリキュラムづくりと実施	小中学校の国際理解教育の系統性のあるカリキュラムづくりと実施	小中学校の国際理解教育の系統性のあるカリキュラムづくりと実施	小中学校の国際理解教育の系統性のあるカリキュラムづくりと実施	小中学校の国際理解教育の系統性のあるカリキュラムづくりと実施
取組実績	全校で人権教育計画の中に国際理解教育を位置付け、民族講師やALT派遣を有効活用した。					
成果	民族講師やALTの派遣、留学生との交流幹旋等により国際理解教育が充実し、自国のアイデンティティを高めた。					
次年度課題	小学校における外国語活動の充実と自国の伝統文化についての学びの充実が課題である。					
計画	就学前教育・小中学校の国際理解教育の系統性のあるカリキュラムの修正と実施	就学前教育・小中学校の国際理解教育の系統性のあるカリキュラムの修正と実施	就学前教育・小中学校の国際理解教育の系統性のあるカリキュラムの修正と実施	就学前教育・小中学校の国際理解教育の系統性のあるカリキュラムの修正と実施	就学前教育・小中学校の国際理解教育の系統性のあるカリキュラムの修正と実施	就学前教育・小中学校の国際理解教育の系統性のあるカリキュラムの実践と深化
取組実績	各校で国際理解教育の内容について点検・論議が行われた。					
成果	中学校区のキャリア教育の計画作成の過程で、総合的な学習の時間の取組み内容について、国際理解教育を含めて交流した。					
次年度課題	小中学校での国際理解教育の系統性について論議する場の設定が必要である。					
計画	系統性のある国際理解教育を作成するための教員研修開催	系統性のある国際理解教育を実施するための教員研修開催	系統性のある国際理解教育を実施するための教員研修開催	系統性のある国際理解教育を実施するための教員研修開催	系統性のある国際理解教育を実施するための教員研修開催	系統性のある国際理解教育を実施するための教員研修開催
取組実績	国際理解教育に絞った研修は行っていないが、小学校外国語活動の研修を実施した。					
成果	民族講師やALTの派遣により国際理解・平和教育が充実し、経験の浅い教員への研修にもつながった。					
次年度課題	特に小学校の外国語活動研修の充実と中学校の国際理解教育についての研修が必要である。					

【摂津市の特色や魅力のある取組みとして進めていくこと】

平和黙禱の実施						
市内各施設をはじめ、事業者などにも協力を要請し、原爆投下日に合わせて一斉に平和黙禱を行います。						
平成27年度事業 ◇平和施策推進事業770千円(人権女性政策課)						
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	第5期実施計画期間		後期終了年度
				平成28年度	平成29年度	平成32年度
計画	市内施設においてはCDを使用した黙とうの実施。また事業所については協力文書を送付し、黙とうの実施するとともに実施状況の把握方法を検討	市内施設においてはCDを使用した黙とうの実施。事業所については協力文書を送付し、黙とうの実施を促進するとともに、平和について、更なる意識喚起を促す機会の提供を検討する。	市内施設においてはCDを使用した黙とうの実施、事業所については協力文書を送付し、黙とうの実施を促進	市内施設においてはCDを使用した黙とうの実施、事業所については協力文書を送付し、黙とうの実施を促進	市内施設においてはCDを使用した黙とうの実施、事業所については協力文書を送付し、黙とうの実施を促進	市内施設においてはCDを使用した黙とうの実施、事業所については協力文書を送付し、黙とうの実施を促進
取組実績	市役所及び市内施設において、CDを使用した黙とうを実施した。806箇所の事業所に協力文書を送付・依頼した。					
成果	市民・市職員・協力いただいた事業所の方々に非核平和についての意識喚起を促す機会を提供することができた。					
次年度課題	事業所への協力文書を送付するだけでなく、平和についての啓発の機会となるよう検討する。					

平和学習の推進						
広島への修学旅行や平和登校、不戦の日のついでなどを中心に、小中学校において平和学習を行います。						
平成27年度事業 ◇国際理解教育推進事業9,118千円(学校教育課)						
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	第5期実施計画期間		後期終了年度
				平成28年度	平成29年度	平成32年度
計画	小学校6年生の修学旅行での平和学習をまとめるため、全学年での平和集会を開催。小学校1年生から5年生がそれぞれの発達段階に応じて、平和の取組みを行い発表。それにより、毎年の体験を生かした取組みを6年生にて実施	小学校6年生の修学旅行での平和学習をまとめるため、全学年での平和集会を開催。小学校1年生から5年生がそれぞれの発達段階に応じて、平和の取組みを行い発表。それにより、毎年の体験を生かした取組みを6年生にて実施	小学校6年生の修学旅行での平和学習をまとめるため、全学年での平和集会を開催。小学校1年生から5年生がそれぞれの発達段階に応じて、平和の取組みを行い発表。それにより、毎年の体験を生かした取組みを6年生にて実施	小学校6年生の修学旅行での平和学習をまとめるため、全学年での平和集会を開催。小学校1年生から5年生がそれぞれの発達段階に応じて、平和の取組みを行い発表。それにより、毎年の体験を生かした取組みを6年生にて実施	小学校6年生の修学旅行での平和学習をまとめるため、全学年での平和集会を開催。小学校1年生から5年生がそれぞれの発達段階に応じて、平和の取組みを行い発表。それにより、毎年の体験を生かした取組みを6年生にて実施	小学校6年生の修学旅行での平和学習をまとめるため、全学年での平和集会を開催。小学校1年生から5年生がそれぞれの発達段階に応じて、平和の取組みを行い発表。それにより、毎年の体験を生かした取組みを6年生にて実施
取組実績	全小学校の6年生が平和学習のまとめとして広島への修学旅行を実施した。その後、各校で全学年が参加する平和集会を開催した。					
成果	各校で、それぞれの学年の平和学習の取組み内容などについて、共有を図ることができた。					
次年度課題	中学校区ごとの小中学校が連携した平和学習の取組みを構築する必要がある。					

国際理解教育の推進						
幼稚園・小中学校に在籍する外国籍の子どもたちなどの自覚や誇りを高め、また、日本人の子どもたちとともにお互いを認め合い、ともに学ぶ意識を高める教育を進めます。						
平成27年度事業 ◇国際理解教育推進事業9,118千円(学校教育課)						
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	第5期実施計画期間		後期終了年度
				平成28年度	平成29年度	平成32年度
計画	外国籍の子どもたちのアイデンティティーの確立と、日本の子どもたちとともに違いを認め、相互に高め合う教育を推進	外国籍の子どもたちのアイデンティティーの確立と、日本の子どもたちとともに違いを認め、相互に高め合う教育を推進	外国籍の子どもたちのアイデンティティーの確立と、日本の子どもたちとともに違いを認め、相互に高め合う教育を推進	外国籍の子どもたちのアイデンティティーの確立と、日本の子どもたちとともに違いを認め、相互に高め合う教育を推進	外国籍の子どもたちのアイデンティティーの確立と、日本の子どもたちとともに違いを認め、相互に高め合う教育を推進	外国籍の子どもたちのアイデンティティーの確立と、日本の子どもたちとともに違いを認め、相互に高め合う教育を推進
取組実績	小中学校で合計422時間の時数、社会人講師を派遣し、各国の具体的な文化の紹介や飢餓や貧困を抱える国々についての講演などを実施した。					
成果	講師の話や体験活動を通して、児童生徒が、国際的視野を広げ、正しい人権感覚を身につけることができた。					
次年度課題	日本語指導講師との具体的な連携のあり方について検討していく必要がある。					